

<くめざす地域コミュニティの姿(神戸づくりの指針2011～2025)> 地域の様々な活動主体がゆるやかな連携を行い、そうした連携組織などが地域を代表して市と対等な関係を築き、総合的・自律的な地域運営を展開する姿

神戸市地域コミュニティ施策の基本指針 (目的:人口減少社会を見据えた総合的・自律的な地域コミュニティの環境づくり)		～2021年度	2022年度の方向性
指針1 地域特性を尊重し、地域の成り立ちや実情、活動の地域差を踏まえて地域コミュニティ施策を展開する	1. 地域コミュニティの実態把握	地域福祉センター等の現状調査と今後の方向性の検討	地域組織基礎調査の実施 庁内検討用地域カルテの作成
	※ 地域の 実情に 応じた 施策 ▽ 住民参加度の低い地域への対応		(伴走型支援の検討)
	マンションコミュニティへの対応	マンションセミナーの開催 神戸市マンション管理届出等制度の活用	
	総合的・自律的運営を目指す地域に対する施策の展開	総合的・自律的運営を行う姿に移行・発展できる制度の設計に向けた具体的な検討	総合的・自律的運営を行う姿に移行・発展できる制度の創設
指針2 地域コミュニティの総合力を高めるため、縦割りの弊害を解消し、各部署の施策・事業を横断的に再構築する	1. 助成手続きの共通化・簡略化、(つなぐラボ)調整機能の強化による利用しやすい助成制度への見直し	補助金手続要綱の運用 補助金申請の電子化	地域活動支援ポータルサイトの構築
	2. 地域の実情に応じた補助金の総合化や交付金化の検討	ふれあいのまちづくり助成一括申請拡充	総合的助成制度の検討 申請・報告に関するサポート(有償ボランティア制度)
	3. 地域団体への協力依頼のルール化など、地域の負担軽減	自治会・管理組合へのチラシ配布の見直し	
指針3 地域コミュニティの自律的な運営を支えるため、区役所の体制充実、支援者間やNPO等との連携を強化する	1. 地域を担当する組織及び職員の充実(地域担当者のサポート体制、地域施策関係者間の連携強化及び役割分担の整理)	こどもの居場所づくりを通じた区社協との連携強化 協働コーディネーターによる担い手の発掘	つなぐラボ・まちづくり課の役割の再構築
	2. 地域団体間や地域団体とNPO等との連携充実に向けた、プラットフォーム機能の強化、コーディネートのあり方の検討	こども食堂等子育て世代の活動支援を通じた、まちづくり課のコーディネート機能充実	区におけるプラットフォーム機能(支援機能、情報収集・発信機能、コーディネート機能)の強化、(外部人材による中間支援の検討)
	3. 自律的運営を支える地域活動拠点のあり方や、事務局機能向上への支援	地域福祉センター(地域活動コーナー)へのWi-Fi設置 地域福祉センター等の現状調査と今後の方向性の検討(再掲) ふれあいのまちづくり助成におけるサテライト助成の拡充 地域集会所新築等補助制度の運用 空き家等を活用した地域活動助成モデル事業 コミュニティ相談センターの運営	地域福祉センターの地域活動拠点としての周知、幅広い世代の地域住民の利用促進 コミュニティ相談センターの相談機能強化
指針4 地域の実情や課題の共有促進のため、データの提供と合意形成への支援、将来像づくり	1. GISを活用した、地域へのデータ提供、協働による地域コミュニティのカルテづくり	地域の基礎データ(PDF)の公開 地域の基礎データ(庁内GIS)の整備	地域の基礎データ(PDF)の更新 地域組織基礎調査の実施(再掲)
	2. 専門家派遣など、地域内の合意形成及び将来像づくりへの支援		
指針5 地域活動の新たな担い手発掘及び育成(のため、様々な部署の地域人材育成事業を体系化)	1. 地域人材育成策の充実・体系化、フォローアップ施策の展開	ソーシャルビジネス、マンションセミナー	
	2. 担い手発掘・活動参加のきっかけづくりと活動のプロセスを通じた人材育成	こどもの居場所づくりを通じた担い手確保 協働コーディネーターによる担い手の発掘 KIIT0300の構築、協働と参画推進助成制度 空き家等を活用した地域活動助成モデル事業(再掲) キッチンカーを活用した地域活動の場づくり CO+CREATION KOBEやBe Smart KOBEプロジェクト等の実施による担い手の発掘	左記に加え、 若い世代の参画を促す仕掛けづくり 職員地域貢献応援制度の活用